

令和5年度 高須地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域の交流を促すために、地域の輪を広げる
-------	----------------------

重点課題	地域のふれあいの活動の機会を逃さず、活動につなげる
------	---------------------------

事業名	推進方法	評価
ブロック活動		
Aブロック	「地域あいさつ運動」を各自治会において「交通安全街頭啓発巡視」の日に合わせて実施し、挨拶や見守りの声掛けを通して住民同士のコミュニケーションを図る。	○
Bブロック	サツマイモの苗植え、収穫により、三世代交流を深める。各自治会長が集い、話し合い、解決方法を見出していく。	○
Cブロック	自治会長や、福祉関係の役員の連携を強化する。人と人とのつながりをしっかり作り、心ある人の結集を図る。困りごとを掌握し、小さなお手伝いにつなげる。具体例を共有する。	○
Dブロック	ラジオ体操。クイズ大会などの三世代交流イベント。	△
Eブロック	三世代交流の他、ブロックの課題を見つけ活動につなげていく。Eブロックは範囲が広いことと、新しい人たちの転入も多いため、地域に対する温度差を横のつながりで無くしていきたい。	○

現状及び今後の方針		
ブロック活動		
Aブロック	○地域あいさつ運動（原則として月1回） ・のぼり旗を掲げて、朝の登校時のあいさつと見守り活動を月1回行った。自治会に呼びかけて、活動の輪を広げようとしたが、十分な協力は得られなかった。 ○世代間ふれあい交流～ウォーキング大会～ ・慎重にウォーキングコースを選定した。天候に恵まれて多くの参加者が得られた。	
Bブロック	○あいさつ運動（7/21～30、12/21～31） のぼり旗を地域内に掲げて、住民に周知するとともに、あいさつすることを意識づけることが期待される。	
Cブロック	○親子で地区内ピッカピカとゲーム ・世代間交流をめざして、ゲーム大会や体操を行った。多くのゲームを用意した。参加者は楽しむことができた。	
Dブロック	○あいさつ運動（12月） 会場の都合でレクリエーション大会は実施できず、あいさつ運動を行った。	
Eブロック	○三世代ふれあい食堂 食事づくり、ゲームで交流し、マジックを鑑賞した。子どもには盛り上がった。 ○防災講座（「能登半島地震から学ぶ」） 防災講座を開催し、防災について話し合い防災意識を見直した。 ○福祉懇談会 福祉活動について話し合った。	

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和5年度 高須地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域の交流を促すために、地域の輪を広げる
-------	----------------------

重点課題	部会活動の内容の把握と具体化
------	----------------

事業名	推進方法	評価
部会活動		
総務部会	民生委員児童委員、福祉推進委員、自治会長に対しての勉強会等（広報）	○
防犯防災部会	防災に対し、少しでも役立つ行動。 消防署職員による講習。（例）応急手当・仮設便所の設営・タンカーの作り方	○
生活支援部会	①「ちょボラ部活動」への支援 ②「ふれあいサロン」の運営。人と人とのふれあいの機会の創造。「いきいきクラブ」とのコラボなど。 ③民生委員児童委員など、地域の福祉にかかわる団体の活動内容の分析を行い、部会としての実践内容を検討する。 ④「ちょボラ部活動」の実践、継続。	○
イベント交流部会	地域の伝統行事に関する祭りの開催、もしくは夏祭りへのブース参加など。	○

現状及び今後の方針		
部会活動		
総務部会	・組織、規約の問題点の検討は来年度に持ち越す。 ・拠点が決定し、オーナーと契約を進めている。 ・挨拶運動強調月週間を設けて、実施する予定である。 ・小さな親切運動は5件ほど表彰する予定。 ・役員の視察研修を予定している。	
防犯防災部会	・避難情報マップ(避難カード)を作成した。 ・日頃から防災への意識啓発が重要である。参加者の確保が難しい。	
生活支援部会	①ちょボラ部をサポートしていく。 ②広域サロンの開催を予定している。 ③会議の日程調整・案内方法や世話人の選任に時間がかかった。	
イベント交流部会	・一人暮らし高齢者のための交流会が対面方式で開催できた。次年度も計画する。 ・部会ではなく各自での参加になった。 ・貴重な経験(風船飛ばし等)となった。	

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった